

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日（土）～14日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

ワークショップ 31	
企画名	臨床研究デザイン道場 ～外来で始める臨床疫学研究～
日時	2017年5月14日（日） 10:55～12:25
会場	第10会場（JR ホテルクレメント高松 2F 小宴会場「雅」）
企画責任者	竹島 太郎（自治医科大学地域医療学センター 地域医療学部門）
定員	30名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b></p> <p>本学会員の診療の場は、外来診療、入院診療、在宅医療、救急診療、予防活動、健康教育など多岐に渡る。また、本学会では、サブスペシャリティーを有する多くの開業医の先生方が会員として活動され、外来診療や在宅医療をはじめとするプライマリ・ケア診療を第一線で実践している。そこで、今回の道場では、外来で気軽に始めることができる臨床疫学研究にフォーカスし、WSを通して質の高いデザインとは何かを学び、その理解を深めることを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b></p> <p>当日は、外来における症状の分析やめまいに関する分析など、実際に論文化された研究の実例を紹介し、研究テーマを考えて頂きます。更に、ワークシートや京都大学医療疫学分野で開発された研究計画作成支援アプリ（QMentor）を用いながら、グループワークを通して、研究デザイン作成の過程を実際に体験して頂きます。</p> <p>QMentorの構成は以下のようになっております。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>Step1：Research Question (RQ) のタイプを決める&lt;</li><li>Step2：RQを構造化する</li><li>Step3：研究デザインの型を決める</li><li>Step4：良いRQの要件をチェックする</li><li>Step5：第3の因子を明らかにする</li><li>Step6：比較の質を高める（交絡・バイアス）</li><li>Step7：解析方法を決める</li><li>Step8：論理性を確認する</li></ul> <p>今回のワークショップでは、Step1～4を中心とした作業を予定しております。また、効率よく学習して頂くために、簡単な事前学習を予定しております。</p>	